

# Surgical

Complex Cardiovascular Therapeutics 2015  
CCT2015

会期 2015年10月30日(金)  
31日(土)

会場 神戸ポートピアホテル

#### Course Directors

大川 育秀  
豊橋ハートセンター

岡本 一真  
慶應義塾大学

近藤 俊一  
いわき市立総合磐城共立病院

坂口 太一  
心臓病センター榊原病院

田端 実  
東京ベイ・浦安市川医療センター

津久井 宏行  
東京女子医科大学

#### 事前参加登録

受付締切 | 2015年9月15日(火)

事前参加登録費.....15,000円 ※当日登録費は18,000円  
(CCT2015 Surgical 2日券)

CCT Website ➡ <http://cct.gr.jp/>

#### CCT事務取扱

〒440-0851 愛知県豊橋市前田南町1-1-5 2E  
TEL: 0532-57-1275 FAX: 0532-52-2883  
E-mail: secretariat@cct.gr.jp

CCT Website ➡ <http://cct.gr.jp/>



# S CCT2015 Surgical

Complex Cardiovascular Therapeutics 2015

会期 **2015年10月30日(金)・31日(土)**

会場 **神戸ポートピアホテル**

## Course Directors

代表

大川 育秀

豊橋ハートセンター

岡本 一真

慶應義塾大学

近藤 俊一

いわき市立総合磐城共立病院

坂口 太一

心臓病センター榊原病院

田端 実

東京ベイ・浦安市川医療センター

津久井 宏行

東京女子医科大学

昨年は、2年ぶりにCCT surgicalを新たなメンバーで開催しました。通常の開心術ばかりでなく、MICS、TAVI、TEVARも含め今後の心臓大血管手術を進めていくうえで新しいエッセンスを提供するべく開催いたしました。

今年も、さらに魅力あふれるプログラムになるよう鋭意準備中です。

ライブ手術には急速に普及してきた小開胸MICSの新しい手技(腋窩アプローチAVR、Maze)、最近注目を集めている大動脈弁形成手術、定型的なtotal arch replacement等もラインナップし、適応から技術的なピットフォールまで細かいディスカッションをしたいと考えています。

インターナショナルセッションとしては、TAVIの開発、創世期から現在までトップランナーとして活躍し、アメリカ、日本の両国でプロクターとして指導いただいた先生をお呼びし、TAVIの開発秘話から、TAVIの現在そして未来についてご講演いただきます。また、アジアで活躍している若手心臓血管外科医にスポットをあて、交流を深めていきたいと思っています。

イブニングセッションでは、これからの心臓血管外科にとって、必要不可欠なアイテムである内視鏡カメラ、手術映像システムにフォーカスをあてて、近未来の映像システムを検討する予定です。

本会では、ライブ手術に加えて、MICS、TAVIやTEVARの血管内治療のチャレンジケースビデオライブを企画しており、一歩進んだMICS、血管内治療を提供したいと思います。一方で、定型的な心臓手術の基本手技をエキスパートの先生方に伝授していただくビデオライブセッションも用意しております。

また、「手術の工夫」をテーマとしたポスターセッションを用意しております。

若手心臓外科医にとっても、また術者として第一線で活躍している先生方にとっても有意義な会になるようにしたいと思います。多くの先生に気軽に参加して頂き、活発な会になることを期待しています。

## 10月30日(金)

9:00~12:20 **Surgical Live Demonstration 1 大動脈全弓部置換術・MICS-Maze**



中継施設 ●滋賀医科大学 ●東京都立多摩総合医療センター

20年前には、チャレンジングな手術であった完全弓部置換手術、当時Cut and Sutureで行っていたMaze手術は、格段の進化をとげております。

今回、TEVAR & open STENTが広がっている現在でも、Standard かつ最強の手術であるtotal arch replacement を滋賀医科大学の浅井徹先生に行なっていただく予定です。安全、確実、スピーディのコツ、pit fallを学びたいと思います。

また、MICSの流れが広がりつつある現在、不整脈手術へ導入した、MICS-Maze を東京都立多摩総合医療センターの大塚俊哉先生に行なっていただく予定です。最先端の心房細動マネージメント、その適応、鏡視下手技でのコツ等を学びたいと思います。

12:30~14:00 **Luncheon Seminar Asian-Pacific Session: Discover hidden giant cardiovascular surgeon**

グローバル化に伴い、欧米における心臓血管外科領域の情報は簡単に入手できるようになりましたが、Asia-Pacific地区の情報は未だに十分に行き渡っていません。Asia-Pacific地区にも、耳目を引く目覚ましい活躍を遂げている外科医はたくさんおり、時として欧米を凌駕することもあります。今回は、Asia-Pacific地区で最先端技術を提供している若手心臓血管外科医に焦点を絞り、隠れた将来のGiant Cardiovascular Surgeonを発掘し、多くを吸収したいと思います。

14:15~14:45 **特別講演 TAVIの誕生、現在、未来、～日本での導入を経験して～**

2013年10月から本格的に導入となったTAVIは、2015年7月現在、認定施設は57施設となり累計約1800例のTAVIが行われている。その低侵襲性には目を見張るものがある一方、重篤な合併症も散見されている。

TAVIデバイスの開発、臨床応用の黎明期からかわり、術者として600例、プロクターとして日本で119例36施設、米国250例以上の指導を行っている Leif Thuesen教授をお招きして、TAVIの開発秘話、臨床応用、今後の未来を、日本でのプロクターリングの経験に基づいて講演していただきます。

15:00~17:00 **Session 1 TAVRにおける外科的レスキュー**

日本では、2013年10月に保険適用となったTAVRが症例数1,500例を超えて、臨床成績も世界トップです。TAVRは時に致死的な合併症を引き起こし、外科的あるいはインターベンション的な緊急対応を要します。TAVR実施施設の外科医に、外科的レスキューの経験をシェアしていただき、TAVRにおける外科医の心構えや役割、レスキュー方法についてディスカッションします。

17:15~17:45 **Case Presentation**

優秀演題の口述発表を予定しております。

18:00~19:00 **Evening Session 手術用内視鏡選択と画像記録システムからみたMICSの未来像**

MICSの傷が小さくなればなるほど外科医の「目」である内視鏡画像のサポートが重要になってきます。「目」がよく見えないと良い手術が出来ませんので、これからは内視鏡をこだわりをもって選択する時代です。また内視鏡画像は手術の記録に最適です。一方でこの膨大な画像データのストックには頭を悩ませます。手術用内視鏡と手術画像記録システムの現状と将来像について夕食前の一時にワインを傾けながらディスカッションします。

## 10月31日(土)

9:00~12:20 **Surgical Live Demonstration 2 大動脈弁形成術・MICS-AVR**



中継施設 ●心臓血管研究所附属病院 ●名古屋第一赤十字病院

昨年に引き続き右小開胸弁膜症MICSのライブを行います。名古屋第一赤十字病院の伊藤敏明先生に腋窩アプローチ内視鏡補助MICS-AVRを行なっていただく予定です。

もう一方は、近年注目を集めており、良好な成績である大動脈弁形成手術を心臓血管研究所附属病院の國原孝先生に行なっていただく予定です。

12:30~13:30 **Luncheon Seminar プロマジシャンから学ぶ技の向上と革新(仮)**

マジックの世界では、毎回同じネタでは飽きられる、マジックを見慣れると少々のことでは驚かれない。そんな厳しい環境のなかで生き残るには、日々技を向上させて、革新的なマジックを開発することが求められます。それは心臓血管外科医にも通じることで、ぜひ進化し続けるプロマジシャンから学びましょう。

13:40~14:50 **Session 2 ビデオライブ 1: 最先端治療ビデオ MICS-CABG & TEVAR B型解離 & In-situ total fenestrated TEVAR for aortic arch**

両側内胸動脈を使用し、完全血行再建を目指したMICS-CABGを供覧していただきます。

限られた視野で両側内胸動脈を確実に剥離する方法、大動脈にfree graftを吻合する方法等をお話しいただきます。

TEVARは慢性B型大動脈解離に対する偽腔へのインターベンションと、血管内で上行から弓部大動脈に対し解剖学的な再建を行う方法について症例を提示いただきながらその手技のコツ、pit fallについてお話しいたします。

15:00~16:00 **Session 3 ビデオライブ 2: 人工弁置換術の基本手技**

人工弁置換術には、弁の切除、石灰化処理、運針、結紮など心臓手術のエッセンスが詰まっています。前立ちをしていると簡単そうに見えるのに、いざ手術させてもらうと、もたついてしまう。上司とどこが違うか悩んだことはありませんか? 簡単そうに見える手技の裏には合併症を避けるための細かな気遣い、無駄な動作を減らすための工夫があり、それをいかに学び取るかが上達のカギになります。若手外科医を対象に、弁置換術のエッセンスをエキスパートから学びます。